

短期大学部 令和7年度 指定校推薦入学試験

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科	志願者数	受験者数	合格者数
商経	4	4	4
合計	4	4	4

(2) 本入学試験の目的

本学では、多様な入学試験制度を導入し、受験生に対して幅広く受験の機会を提供しています。そのうちの「指定校推薦入学試験」は、高等学校または中等教育学校長の推薦及び一定の条件（学習成績の状況など）を充足することにより出願を認めるもので、学力試験が免除される専願制の入学試験となっています。

本学部においても、所属学校長からの推薦に基づき、学業・人物（コミュニケーション能力・積極性・学ぶ意欲など）ともに優秀で本学部への入学を強く希望する者を受け入れることにより、本学部の活性化を目指すことを目的に実施しています。

2. 試験内容・出題の意図

(1) 書類審査

調査書、推薦書により出願資格を充足するかを確認したうえで、志望理由書により、本学部への入学意欲や将来のキャリアの見通しや目標について、しっかり自分の意見が述べられているかを確認しました。

(2) 口頭試問

小論文・学科試験に加えて、約15分間の口頭試問を行いました。口頭試問では、2名の面接担当教員が1名の受験生に対して、事前に提出された志望理由書などにより、本学部への入学意欲やアドミッション・ポリシーに叶う者かどうかを確認しています。

3. 評価のポイント

(1) 口頭試問

口頭試問での評価の主なポイントは以下のとおりでした。

- ・自分の言葉でしっかり説明できているかどうか。
- ・なぜ本学部を目指そうとしたのか、それが自身の学習とどのように関連するのかどうか。
- ・入学後、何をどのように学びたいのか、学業の目標を示すことができているかどうか。
- ・自身のキャリアプランを明確に持っているかどうか。
- ・自身の強みをしっかりアピールできるかどうか。

4. 解答状況・次年度の受験生へのアドバイス

「指定校推薦入学試験」は、学校長の推薦及び調査書の状況により、本学部で学ぶに足る基礎学力は充足されているという前提で選考されることになります。そのため、口頭試問で、なぜ近畿大学の短期大学部なのか、短期大学部で学ぶことを将来にどのように活かしていきたいのか、そのためには在学中、どう学んでいくのかという姿勢を、しっかり認識していただくことが重要だと考えています。これらを棒読みするのはなく、自分の言葉でしっかり組み立てて、そこから派生するであろう質問を想像しながら準備していただくことが良いだろうと思います。

令和7年度入学の受験生については、どの生徒もしっかりと対応されていましたが、今後、「指定校推薦入学試験」を目指す生徒におかれましては、自分の考え・思いをまとめて、端的に表現できる能力を養うことが大事だと思います。